

令和5年度 大田区立都南小学校 学校経営計画

令和5年 4月3日
大田区立都南小学校
校長 竹内 治美

大田区教育委員会教育目標
「意欲をもって自ら学び、考え、行動する人」
「思いやりと規範意識をもち、社会の一員としての役割を果たす人」
「自らの可能性を伸ばし、未来を拓き地域を支える人」

おおた教育ビジョン

豊かな人間性をはぐくみ、未来を創る力を育てる

社会の変化に主体的に対応し未来を創る力を育成する。

「知・徳・体」の調和のとれた成長を図り、豊かな人間性を涵養する。

意欲にあふれ、個性と可能性を最大限に伸ばす学びの場を創出する。

地域の特色を生かし、学校・家庭・地域が連携・協働して子どもを育てる。

重点的に進める教育プラン（キーワード）

【未来社会を創造的に生きる子どもの育成】

- ・コミュニケーション能力 ・論理的、科学的な思考力
- ・情報活用能力 ・ともに生きる力 ・健康増進、体力向上

【学力の向上】

- ・基礎的な知識、技能 ・思考力・判断力・表現力
- ・主体的に学習に取り組む態度

【豊かな心の育成】

- ・道徳性の涵養 ・豊かな情操や感性の醸成
- ・主体性の育成 ・幼保小中一貫した心の教育

【体力の向上と健康の増進】

- ・体力の向上 ・スポーツを楽しむ態度 ・健康づくり
- ・基本的な生活習慣の確立

【魅力ある教育環境づくり】

- ・特色ある学校づくり ・教員の指導力の向上 ・主体的、対話的で深い学び ・学校組織の活性化 ・教育環境の整備
- ・特別支援教育の充実 ・いじめ問題、不登校対策の充実
- ・安全、安心の向上

【学校・家庭・地域が一体となってともにすすめる教育】

- ・地域とともにある学校づくり ・安全、安心な環境づくり
- ・家庭教育への支援 ・教育相談の充実 ・地域への愛着を育てる教育 ・図書館の整備と文化財保護

元気な笑顔あふれる都南小学校 未来に向けて共に学ぼう都南の子

- 学校教育目標
- 1 健康で明るい子
 - 2 よく考え行動する子
 - 3 人を愛するやさしい子
 - 4 終わりまで仕事をやりぬく子

目指す学校像

- ① 児童が楽しく通う学校
児童の自己肯定感を育成し、何事にも前向きに取り組めるようにする。
- ② 保護者に信頼される学校
保護者との連絡を密にして安心して送り出せる学校にする。
- ③ 地域に愛される学校
地域に開かれた教育活動を推進する。

学校の教育目標を達成するための基本方針及び具体的な取り組み（自己評価アンケートとの連携）

学力・体力向上

授業は楽しい (児童アンケート) R3:89%→ R4:88%
R5 目標値 90%

学力向上に向けての取組

- 学習・学年・地域の力 対話で育つ都南の子**
- 個別最適化した、創造性を育むICTを活用した教育の実現
 - 児童が主体的に学ぶ意欲を引き出す授業改善(知的好奇心を刺激)
 - 「都南の学びあい」継続指導で学習規律を徹底。
 - 算数少数指導・習熟度別指導の実践やステップ学習等で基礎基本の定着を図る。
 - 都道府県検定、県庁所在地検定(本校オリジナル)の実施 ※4年生以上
 - 読書活動の充実
読書学習司書と連携し朝読書や読み聞かせに取り組み豊かな言語能力を養う。
 - 補習授業の充実 土曜日6回の補習教室に加え、「スクールサポートとなん」による10回の平日補習実施する。
 - 校内研
「自他を認め、よりよく生きようとする児童の育成～道徳科授業の中心発問の工夫を通して～」をテーマに研究を行う。事後研究も含め全員が授業を公開することで教師一人ひとりの授業力を向上させる。

体力向上に向けての取組

- コオディネーショントレーニングに関する教職員の研修を実施し、体育の時間や朝の時間に「元気タイム」として行い、体力向上を図る。
- 「一校一取組」運動の実施
「都南ランニング」を設定し体力づくりをする。また、「一学級一実践」として「都南ギネス」の取組をし、運動を推進することで日常の健康増進を図る。

豊かな心の育成

自分にはよいところがある (児童アンケート) R3:77%→ R4:81%
R5 目標値 85%

自己肯定感の育成

- ①どんなときも「あなたの味方」という思いを子ども達につたえる。
- ②子ども達が積み重ねる成功体験を見逃さず、必ず心を込めてほめる。
- ③成果だけでなく、その子その子の努力の歩みを評価し、認める。
- ④子どもの思いに傾聴し、それを受容する。
- ⑤子ども達が「今日もいい日が始まった」と学校生活を迎えることのできる毎日にする。
- 学年力の向上
学年に応じて「学年力アンケート」を実施しレーダーチャートによって視覚化することで、児童自らよりよい学年にしようとする気持ちを育てる。
- 縦割り班活動「ともだち班」を実施し異学年の結びつきを深める。

自分から進んで挨拶した (児童アンケート) R3:92%→ R4:93%
R5 目標値 95%

生活指導

- 「都南小10のやくそく」の継続的な指導により生活のきまりを徹底させる。
- 毎朝、教員、児童が校門に立ち一体となって「いつでもどこでも笑顔で挨拶のできる子」を目指す。
- SNS、ゲーム利用についての指導の徹底
セーフティ教室等を実施し繰り返し指導する。
- 不登校・不応児童対策
配慮児童への全教職員での取り組み
・週1回の生活指導夕会の充実
・関係機関と連携して保護者支援。
- 特別支援校内委員会の充実
スクールカウンセラー・専門員の活用
- 安全点検カード・地域安全マップの活用
(エコ・防犯・施設の安全管理・防火等)

保護者・地域・近隣校との連携

- 教育活動の積極的な発信
年3回の学校公開や行事を通して日常の学習の様子を公開する。
ホームページや学年・学級だより等を積極的に活用し情報を発信する。(更新100回目標)
- 保育園・幼稚園との連携
生活科等を通して交流する機会を設ける。
幼保小の接続を滑らかにするために情報を共有する会を実施する。
- 小中一貫教育の推進
学力向上をテーマに小中合同で授業公開や協議会を実施する。
6年生による中学校授業参観を実施する。

学校は教育内容を分かりやすく伝えている。 (保護者アンケート) R3:90%→ R4:91%
R5 目標値 95%

- 地域教育連絡協議会の実施
授業協力や外部評価などの場とし、教育活動の充実を図る。
- 学校支援地域本部「スクールサポートとなん」との連携を図り、開かれた学校づくりを進めるとともに体験的な活動の充実を図る。
- 「都南放課後ひろば」との連携
日常的に子どもの様子について情報交換を進め、子どもが安全・快適に過ごせるように支援する。